

令和6年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））

医療観察法における退院後支援に資する研究

分担研究報告書

### 通院処遇モニタリングシステムの構築に関する研究

研究分担者 竹田 康二 国立精神・神経医療研究センター病院

#### 研究要旨：

本研究分担班は、通院処遇の実態把握と医療のさらなる改善を目的として、実現可能性があり、かつ地域司法精神医療の改善に資する通院処遇モニタリングシステム案を提言することを目的としている。

令和6年度は、令和5年度に選定した収集項目素案と開発したElectronic Data Capture（EDC）画面を基に、国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部と連携して、通院処遇モニタリングシステムを開発した。

通院処遇モニタリングシステムは、国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部が管理する、安全が確保された医療分野向け文書管理クラウドサービスを使用する。

さらに開発されたモニタリングシステムを利用した小規模なトライアル研究を開始した。トライアル研究では予後と関連する因子の同定、収集されたデータの質の評価、研究協力機関における担当者のデータ入力負担感等を基に今後の運用上の課題などを整理することを目的としている。施設区分ごとの収集データの質の違いやデータ提出負担感を評価するために自治体立、国立病院機構、民間の病院・クリニックといった異なる形態の施設に共同研究機関としての参加を依頼した。

本研究班により、EDCシステムを利用した通院処遇モニタリングシステムが構築された。今後、トライアル研究の結果を踏まえて、通院処遇モニタリングシステムを利用した研究の多施設化、研究事業化に向けた取り組みを進めていく。

#### 研究協力者（順不同、敬称略）

河野稔明 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部  
小池純子 同上  
本村啓介 国立病院機構肥前精神医療センター  
野村照幸 国立病院機構さいがた医療センター  
久保彩子 国立病院機構琉球病院

八木 深 国立病院機構花巻病院  
仲谷佳高 大阪精神医療センター  
橘高 一 福島県立ふくしま医療センターこころの杜  
安田 新 神奈川県立精神医療センター  
村田昌彦 松原病院  
津久江亮太郎 瀬野川病院  
東 健太郎 錦糸町クボタクリニック  
蕪木雅士 周愛利田クリニック

近藤忠之	国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部
新田斉久	同上
久保田涼太郎	同上
小居秀紀	国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部
津野良子	同上
保谷岳彦	同上

## A. 研究目的

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（以下、医療観察法）」は重大な他害行為を行った触法精神障害者に対する医療と処遇を定めた法律である。

医療観察法医療は全国 35 の指定入院医療機関に設置された医療観察法病棟における入院医療と、指定通院医療機関における通院医療からなる。

医療観察法は長期にわたる処遇が義務付けられる制度であり、対象者の人権保護のためにもデータとエビデンスに基づいた最新の医療の提供が求められる。そのためには医療の評価のためのモニタリングシステムが不可欠であると考えられる。

入院医療に関しては、平成 29 年より重度精神疾患標準的治療法確立事業（以下、医療観察法データベース事業）により、全国の指定入院医療機関医療情報のデータ収集が開始された<sup>1)</sup>。全国の指定入院医療機関より幹事病院である国立精神・神経医療研究センター（以下、NCNP）病院に仮想専用回線を通じてデータが送信されている。また幹事病院が収集されたデータを分析した統計結果を定期的に厚生労働省や各指定入院医療機関に報告することにより入院医療の均てん化、般化、さらなる改善を目指している。さらに収集されたデータを基に令

和 2 年までの入院医療の結果をまとめた「医療観察法統計資料 2020 年版」が NCNP 病院ホームページにて一般向けに公開されている<sup>2)</sup>。医療観察法データベース事業により収集されたデータの利活用研究事業も実施されており、これまでに複数の研究が実施されている<sup>3)</sup>。以上より入院医療については、モニタリングシステムとデータとエビデンスに基づいた医療の実践のための体制が概ね整備されていると言える。

一方で、通院医療に関しては、いくつかの研究でのデータ収集はなされてきたが、公的なモニタリングシステムは構築されていない。医療観察法医療の目的である病状の改善と再他害行為の防止、社会復帰の促進の実践と評価のためには、通院処遇のモニタリングシステムの構築が不可欠である。そこで本研究分担班は、通院処遇の実態把握と医療のさらなる改善を目的として、実現可能性があり、かつ地域司法精神医療の改善に資する通院処遇モニタリングシステム案を提言することを目的とした。

## B. 研究方法

### 1. 通院処遇モニタリングシステムの開発

令和 5 年度は通院処遇モニタリングシステムのデータ収集項目素案と EDC（Electronic Data Capture: 以下、EDC）システムを利用したデータ収集システム案を検討し、入力画面を開発した。令和 6 年度は、令和 5 年度の成果をベースとして、NCNP 病院 臨床研究・教育研修部門 情報管理・解析部と連携して、実際に通院処遇モニタリングシステムを開発した。

### 2. 通院処遇モニタリングシステムを利用したトライアル研究

開発した通院処遇モニタリングシステムを利用したトライアル研究を開始した。

## (倫理面への配慮)

通院処遇モニタリングシステムを利用したトライアル研究は NCNP 倫理委員会の承認を得て開始した(課題名 通院処遇モニタリングシステムの構築 承認番号 B2024-104)。研究の実施についての必要な情報を NCNP 倫理委員会のホームページおよび、既存情報の提供を行う施設におけるホームページまたは施設内の掲示板に掲載することで、情報提供者に情報の提供を拒否できる機会を保障する。また通院処遇モニタリングシステムを利用したトライアル研究における「モニタリングシステム」を改善するための、システムの入力方法等についてのアンケート調査に関しては、共同研究機関のデータ入力担当者に対して適切な同意(具体的な方法: WEB アンケート調査フォーム画面冒頭に簡略化した説明文を提示するアンケート画面に同意に関する確認欄を設け、同意を選択することによって同意とみなす)を取得して実施する。

## C. 研究結果

### 1. 通院処遇モニタリングシステムの開発

#### 1) データ収集項目

データ収集項目の大分類は以下のとおりである。令和5年度の素案に共通評価項目を追加した。共通評価項目はデータ収集項目を指定通院医療機関治療評価シートに入力する項目に限定した(表1~表6)。

- (0) ヘッダー情報
- (1) 年齢
- (2) 性別
- (3) 精神疾患診断
- (4) 身体疾患診断
- (5) 対象行為
- (6) 医療観察法処遇の情報
- (7) 通院処遇転帰
- (8) 処方・注射

- (9) 精神科病棟入院
- (10) 身体科病棟入院
- (11) GAF(Global Assessment of Functioning)
- (12) CGI(Clinical Global Impression Scale)
- (13) BPRS(Brief Psychiatric Rating Scale)
- (14) 共通評価項目第2・3版
- (15) 犯罪歴
- (16) 物質関連障害(アルコール除く)
- (17) アルコール
- (18) 喫煙
- (19) 小児期逆境体験歴
- (20) 対象行為前・対象行為時の医療・生活
- (21) 重大な再被害行為
- (22) その他の触法行為
- (23) 問題行動
- (24) 通院処遇期間中刑事司法機関の関与
- (25) 通院医療機関
- (26) 通院処遇期間医療内容
- (27) 行政機関等
- (28) 社会福祉資源等
- (29) 社会生活状況

#### 2) データ収集システム

通院処遇モニタリングシステムは、安全が確保された EDC システムを使用してデータを収集する。各施設のデータ入力担当者は二重認証システムにより通院処遇モニタリングシステムにログインし、EDC システムの WEB 画面から、データ入力する。どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないように、名前、住所、固定電話番号、携帯電話番号、メールアドレス等のデータはデータ入力されない。また各施設は自施設対象者のデータのみしか閲覧できない。

システムは Amazon Web Services (AWS) の国内サーバ(国内法準拠)に構築されており、収集されたデータは NCNP 病院臨床研

究・教育研修部門情報管理・解析部で管理するデータベースで管理する。

## 2. 通院処遇モニタリングシステムを利用したトライアル研究

トライアル研究は、全国 12 の指定通院医療機関が参加し研究を開始した。施設区分ごとの収集データの質の違いやデータ提出負担感を評価するために自治体立、国立病院機構、民間の病院・クリニックといった異なる形態の施設に共同研究機関としての参加を依頼した。

研究計画・事務を NCNP 病院司法精神診療部が担当し、システム・データ管理を NCNP 病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部が担当することで、それぞれの専門性を生かした分業体制を構築した。

ICCS(International Classification of Crime for Statistical Purposes)の収集項目の日本語訳資料(本研究班研究者等訳)、入力薬剤一覧表などを含めた通院処遇モニタリングシステムシステム入力マニュアル(図 1-2)を作成し共同研究機関に配布した。

現在、共同研究機関からのデータ収集中である。

### 1) 通院処遇モニタリングシステムに入力された臨床データを用いた分析

開発した通院処遇モニタリングシステムを利用し通院処遇終了者のデータを収集し、通院処遇終了者の予後と関連する因子を同定すること、収集データの質の評価をすることを目的とする。対象は 2018 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に医療観察法通院処遇が終了した対象者である。収集される情報と情報の収集・管理方法は、1)通院処遇モニタリングシステムの開発の 1. データ収集項目と 2. データ収集システムに記載の通りである。

プライマリーアウトカムは収集された通

院終了者の予後と関連する因子の同定である。予後は重大な他害行為、自殺企図、精神保健福祉法入院などの項目を 10 万人年粗率、累積発生率等で定量化し、関連する因子の同定を目的とした分析を行う。セカンダリーアウトカムは収集データの質の評価(入力率など)である。

### 2) 「モニタリングシステム」を改善するための、システムの入力方法等についてのアンケート調査

データ提出機関の負担感などを明らかにし、今後の研究事業化に向けた課題と知見を収集することを目的とする。

対象は、構築したモニタリングシステムへの入力を行った共同研究機関の研究分担者である。

各共同研究機関のデータ入力者に対して、回答者の職種、回答者の通院処遇経験年数、通院処遇モニタリングシステムへの入力に関する質問(平均入力時間、入力時間がかかった項目、入力困難な項目、記載がなかった項目、入力量、負担感)、実施しやすいモニタリング方法、通院処遇モニタリングで把握できるといいと思う情報(自由記載)、その他、意見(自由記載)を調査する。アンケート調査は WEB アンケートフォームを利用して実施する。

## D. 考察

### 1. 通院処遇モニタリングシステムの開発

本システムは EDC システムを利用している。医療観察法データベース事業と異なり、仮想専用回線やデータベースシステムと診療支援システム間の連携、自動抽出システムの開発等が不要である。展開力やコスト、改修の簡易さなどの点でメリットが大きい。

一方、指定通院医療機関側でのデータ入力が必要となるため人的、時間的負担が生じる。トライアル研究の結果等も踏まえて、

指定通院医療機関側の入力負担が軽減する方法を引き続き検討していく必要がある。

## 2. 通院処遇モニタリングシステムを利用したトライアル研究

データ収集項目は多岐にわたる。トライアル研究により予後と関連する項目や収集データの質を明らかとすることで、通院処遇モニタリングシステムにおけるデータ収集項目を絞っていくことが検討される。データ入力者へのアンケート調査結果を基に、データ入力頻度等も検討していく必要がある。

さらにトライアル研究の結果を基に、通院処遇モニタリングシステムを利用した研究の多施設展開・研究事業化を目指すとともに、将来的な入院データベースとの一元化に向けた検討も進めていく。

トライアル研究は通院処遇終了者を対象とした後ろ向きコホート調査であるが、今後、定時モニタリングを検討していくのであれば、データの質向上と入力負担感軽減を目的として、研究参加施設に対して、日々の診療でも活用可能なデータ入力項目を整理したシートの配布なども検討していくことが望ましいと考える。

## E. 結論

通院処遇モニタリングシステムを開発し、通院処遇終了者を対象としたトライアル研究を開始した。今後は、収集されたデータの解析や質の評価を実施し、データ入力者の負担感なども評価する。トライアル研究の結果を基に、通院処遇モニタリングシステムを利用した研究の多施設展開・研究事業化を目指していく。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

## 参考文献

- 1) 久保田涼太郎, 竹田康二, 山田悠至など. 重度精神疾患標準的治療法確立事業(データベース事業について). 精神科, 2023; 43(1):1-6.
- 2) 医療観察法データベース事業運営委員会: 医療観察法統計資料2020年版. (<https://www.ncnp.go.jp/common/cms/docs/toukeishiryoushi.pdf>)
- 3) 国立精神・神経医療研究センター病院. 医療観察法データベースを二次利用した研究の実施. (<https://www.ncnp.go.jp/hospital/patient/mtsa.html>)

表1 通院処遇モニタリングシステムデータ収集項目1

0	ヘッター情報	登録月 登録施設 研究識別者コード	6	医療観察法処遇の情報	医療観察法処遇回数 当該医療観察法処遇開始日 当初審判処遇 入院処遇回数 通院処遇回数 通院処遇移行前入院指定入院医療機関 直近の入院処遇開始日 直近の入院処遇終了日(=通院処遇開始日) 直近の入院処遇日数 通院処遇開始時大区分 通院処遇開始時小区分 本通院処遇中転医 当該施設での通院処遇開始日 当該施設での通院処遇終了日 総通院処遇日数 当該施設通院処遇日数 当該施設通院処遇終了大区分 当該施設通院処遇小区分 当該施設通院処遇終了時精神科医療継続の有無 転医先施設
1	年齢	通院処遇開始時年齢 通院処遇終了時年齢	7	通院処遇転帰	
2	性別	通院処遇終了時性別 診断名 重複障害1 重複障害2			
3	精神疾患診断(通院処遇開始時)	診断名 重複障害1 重複障害2	8	処方・注射(通院処遇開始時) ※各10種類まで入力欄  処方・注射(通院処遇終了時) ※各10種類まで入力欄	抗うつ薬(明細) 気分安定薬(明細) 抗不安薬(明細) 抗パナ(明細) その他の精神科関連薬剤(明細) 抗精神病薬(明細) テポ剤(明細) 抗うつ薬(明細) 気分安定薬(明細) 抗不安薬(明細) 抗パナ(明細) その他の精神科関連薬剤(明細)
4	身体疾患診断(通院処遇開始時)	診断名1 診断名2 診断名3 診断名4 診断名5			
5	対象行為	診断名1 診断名2 診断名3 診断名4 診断名5 対象行為1種別 対象行為2種別 対象行為3種別 被害者区分 対象行為時被害者との同居 放火の被害区分 事件発生地都道府県			

表2 通院処遇モニタリングシステムデモデータ収集項目2

9	精神科病棟入院 ※50回目まで入力欄 ※入院開始時点の入院形態を入力。	1回目 2回目 3回目 4回目 5回目、、、50回目まで	14 共通評価項目 15 犯罪歴 ※触法行為は20回目まで入力欄	通院処遇開始時 通院処遇終了時 前科前歴(非行歴含む) 補導歴 非行歴 初回非行年齢 少年触法行為による処分歴 成人触法行為による財産刑歴 成人触法行為による財産刑回数 成人触法行為による自由刑歴 成人触法行為による自由刑回数 触法行為歴 触法行為回数 触法行為歴1 触法行為歴2 触法行為歴3 触法行為歴4 触法行為歴5
10	身体科病棟入院 ※10回目まで入力欄	1回目 2回目 3回目 4回目 5回目、、、10回目まで		
11	GAF	通院処遇開始時 通院処遇終了時		
12	clinical global impression - severity scale (CGI-S)  clinical global impression - improvement scale (CGI-I)	通院処遇開始時 通院処遇終了時 通院処遇開始時 通院処遇終了時		
13	BPRS	通院処遇開始時 通院処遇終了時		

表3 通院処遇モニタリングシステムデータ収集項目3

16 物質関連障害(アルコール除く)	対象行為前規制薬物使用歴の有無	コード	17 アルコール	対象行為前のアルコール使用障害
	使用薬物	ラベル 覚せい剤 コカイン あへん MDMA 不正入手した鎮静剤/睡眠剤/鎮痛剤 幻覚剤(LSD等) 大麻 マジックマッシュルーム 危険ドラッグ その他(有機溶剤等)		対象行為時のアルコール使用 通院処遇中のアルコール使用障害
17 物質関連障害(アルコール除く)	対象行為前規制薬物使用歴の有無	コード	18 喫煙	対象行為前の喫煙
	使用薬物	ラベル 覚せい剤 コカイン あへん MDMA 不正入手した鎮静剤/睡眠剤/鎮痛剤 幻覚剤(LSD等) 大麻 マジックマッシュルーム 危険ドラッグ その他(有機溶剤等)		対象行為前の喫煙本数 通院処遇開始時の喫煙 通院処遇開始時の喫煙本数 通院処遇終了時の喫煙 通院処遇終了時の喫煙本数
18 物質関連障害(アルコール除く)	対象行為前規制薬物使用歴の有無	コード	19 小児期逆境体験歴	身体的虐待 性的虐待 感情的虐待 身体的ネグレクト 心理的ネグレクト 家庭内葛藤・不和 両親の別居・離婚 家庭内暴力・親密なパートナーからの暴力 家庭内の経済的問題 家族の精神疾患 家族の物質関連障害(アルコール除く)
	使用薬物	ラベル 覚せい剤 コカイン あへん MDMA 不正入手した鎮静剤/睡眠剤/鎮痛剤 幻覚剤(LSD等) 大麻 マジックマッシュルーム 危険ドラッグ その他(有機溶剤等)		家族のアルコール使用障害 家族の犯罪歴・服役 家族・近しい親族・友人の死 いじめ 家族との別居(児童相談所による保護等) 小児期の重大な病気やケガ 最終学歴
19 物質関連障害(アルコール除く)	対象行為時規制薬物使用	コード	20 対象行為前・対象行為時の医療・生活	対象行為直前の居住形態 対象行為直前の就労・家庭での仕事・学習 対象行為前精神科通院歴 対象行為前精神科病棟入院歴 対象行為前精神科病棟入院回数 対象行為前自殺企図歴 対象行為時治療状況 対象行為における拡大自殺目的
	使用薬物	ラベル 同上項目		

表4 通院処遇モニタリングシステムデータ収集項目4

21	重大な再他害行為 ※重大な再他害行為は10回目まで入力欄	重大な再他害行為1の発生日 重大な再他害行為1種別 被害者区分 被害者との同居 放火の被害区分 重大な再他害行為1による転帰 重大な再他害行為2の発生日 重大な再他害行為2種別 被害者区分 被害者との同居 放火の被害区分 重大な再他害行為2による転帰 重大な再他害行為3の発生日 重大な再他害行為3種別 被害者区分 被害者との同居 放火の被害区分 重大な再他害行為3による転帰	23	問題行動	自殺企図 自傷行為 身体的暴力(暴行罪未満) 非身体的暴力(暴言等) 迷惑行為(大声等) 対人関係トラブル ひきこもり・日中活動不遵守 物資乱用 ギャンブル、買い物、スマートフォン、ゲームなど、アルコール・薬物以外の依存行動 アドヒアランスの問題(通院・服薬の不遵守) 医療・保護観察所・行政・福祉関係者の訪問拒否 日常生活上のルール違反 セルフレグレク 多飲水・水中毒 金銭管理の問題 犯罪行為被害 アドヒアランスの問題
22	その他の触法行為 ※その他の触法行為は10回目まで入力欄	触法行為回数 その他の触法行為1の発生日 その他の触法行為1 その他の触法行為1による転帰 その他の触法行為2の発生日 その他の触法行為2 その他の触法行為2による転帰 その他の触法行為3の発生日 その他の触法行為3 その他の触法行為3による転帰	24	通院処遇期間中刑事司法機関の関与	警察の接触(警察官職務執行法2条、5条、その他) 保護(警察官職務執行法3条) 逮捕(刑事訴訟法199条) 送検(刑事訴訟法第246条) 起訴(刑事訴訟法247条)

表5 通院処遇モニタリングシステムデータ収集項目5

25	通院医療機関 (当該施設通院処遇開始6か月間)	診察頻度 多職種会議(MDT会議) 訪問診療 訪問看護 多職種アウトリーチ デイ・ケア 外来作業療法 診察頻度 多職種会議(MDT会議) 訪問診療 訪問看護 多職種アウトリーチ デイ・ケア 外来作業療法	28 社会福祉資源等 (当該施設通院処遇開始6か月間)	居宅介護 重度訪問介護 同行援護 行動援護 重度障害者等包括支援 療養介護 生活介護 共同生活援助 自立生活援助 自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練) 宿泊型自立訓練 就労移行支援 就労継続支援A型 就労継続支援B型 就労定着支援 地域相談支援(地域移行支援) 地域相談支援(地域定着支援) 計画相談支援 地域活動支援センター利用 ダルク入所 NA・AA参加
26	通院処遇期間医療内容	担当看護師 担当精神保健福祉士 担当心理療法士 担当作業療法士 担当薬剤師 担当栄養士 修正型電気けいれん療法 クロザピン 持効性注射剤 認知行動療法 動機付け面接 疾病教育 アンガーマネジメント 物質使用障害治療プログラム 内省関連プログラム 家族療法・家族支援 ソーシャルスキルトレーニング	社会福祉資源等 (当該施設通院処遇終了前6か月間)	居宅介護 重度訪問介護 同行援護 行動援護 重度障害者等包括支援 療養介護 生活介護 共同生活援助 自立生活援助 自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練) 宿泊型自立訓練 就労移行支援 就労継続支援A型 就労継続支援B型 就労定着支援 地域相談支援(地域移行支援) 地域相談支援(地域定着支援) 計画相談支援 地域活動支援センター利用 ダルク入所 NA・AA参加
27	行政機関等 (当該施設通院処遇開始6か月間)	保健所職員の訪問・面接 市区町村等職員の訪問・面接 精神保健福祉センター職員の訪問・面接 社会復帰調整官の訪問・面接 ケア会議の開催頻度 保健所職員の訪問・面接 市区町村等職員の訪問・面接 精神保健福祉センター職員の訪問・面接 社会復帰調整官の訪問・面接 ケア会議の開催頻度		
	行政機関等 (当該施設通院処遇終了前6か月間)	保健所職員の訪問・面接 市区町村等職員の訪問・面接 精神保健福祉センター職員の訪問・面接 社会復帰調整官の訪問・面接 ケア会議の開催頻度		

表6 通院処遇モニタリングシステムデータ収集項目6

29	社会生活状況 (当該施設通院処遇開始6か月間)	生活保護受給 障害年金受給 老齢年金受給 遺族・寡婦年金受給 その他公的扶助受給 賃金(一般就労、障害者就労、福祉的就労含む) 貯蓄 資産による収入 家族からの支援 就労・家事・学習
	社会生活状況 (当該施設通院処遇終了前6か月間)	生活保護受給 障害年金受給 老齢年金受給 遺族・寡婦年金受給 その他公的扶助受給 賃金(一般就労、障害者就労、福祉的就労含む) 貯蓄 資産による収入 家族からの支援 就労・家事・学習

## 処方・注射

抗精神病薬有無		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
1	一般名称	<input type="text"/>
	1日量 (mg)	<input type="text"/> mg
<b>+追加</b>		
必要に応じて+ボタンを押下し、すべての項目を入力してください。		
デポ剤有無		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
抗うつ薬有無		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
気分安定薬有無		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
抗不安薬有無		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
抗バ剤有無		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
その他の精神科関連薬剤有無		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし

- いずれの項目も、ありを選択すると入力欄が作成されますので、入力してください。
- 商品名ではなく、一般名称での入力をお願いします(**別資料参照してください**)。
- 複数ある場合は、+追加ボタンをクリックしますと入力欄が作成されますので入力してください。
- **抗精神病薬の入力欄は、内服、貼付剤のみ**入力してください(デポ剤はデポ剤の欄に入力してください。)
- デポ剤は1日量ではなく、1回量(1回の注射での投与量)を入力してください。

## 物質関連障害(アルコール除く)

物質関連障害 (アルコール除く)	
対象行為前規制薬物使用歴の有無	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明/不詳
対象行為前物質関連障害の有無	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> 不明/不詳
対象行為時の規制薬物使用の有無	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> 不明/不詳
通院処遇中の規制薬物使用の有無	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明/不詳

物質関連障害 (アルコール除く)	
対象行為前規制薬物使用歴の有無	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明/不詳
使用薬物	<input type="checkbox"/> 覚せい剤 <input checked="" type="checkbox"/> コカイン <input type="checkbox"/> あへん <input checked="" type="checkbox"/> MDMA <input type="checkbox"/> 不正入手した鎮静剤/睡眠剤/鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 幻覚剤 (LSD等) <input type="checkbox"/> 大麻 <input type="checkbox"/> マジックマッシュルーム <input type="checkbox"/> 危険ドラッグ <input type="checkbox"/> その他 (有機溶剤等)
対象行為前物質関連障害の有無	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明/不詳
使用薬物	<input type="checkbox"/> 覚せい剤 <input checked="" type="checkbox"/> コカイン <input type="checkbox"/> あへん <input type="checkbox"/> MDMA <input type="checkbox"/> 不正入手した鎮静剤/睡眠剤/鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 幻覚剤 (LSD等) <input type="checkbox"/> 大麻 <input type="checkbox"/> マジックマッシュルーム <input type="checkbox"/> 危険ドラッグ <input type="checkbox"/> その他 (有機溶剤等)
対象行為時の規制薬物使用の有無	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明/不詳
使用薬物	<input type="checkbox"/> 覚せい剤 <input type="checkbox"/> コカイン <input type="checkbox"/> あへん <input checked="" type="checkbox"/> MDMA <input type="checkbox"/> 不正入手した鎮静剤/睡眠剤/鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 幻覚剤 (LSD等) <input type="checkbox"/> 大麻 <input type="checkbox"/> マジックマッシュルーム <input type="checkbox"/> 危険ドラッグ <input type="checkbox"/> その他 (有機溶剤等)
通院処遇中の規制薬物使用の有無	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明/不詳
使用薬物	<input type="checkbox"/> 覚せい剤 <input type="checkbox"/> コカイン <input type="checkbox"/> あへん <input type="checkbox"/> MDMA <input type="checkbox"/> 不正入手した鎮静剤/睡眠剤/鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 幻覚剤 (LSD等) <input checked="" type="checkbox"/> 大麻 <input type="checkbox"/> マジックマッシュルーム <input type="checkbox"/> 危険ドラッグ <input type="checkbox"/> その他 (有機溶剤等)

- それぞれ該当する項目を、なし、あり、不明/不詳から選択してください。
- ありを選択すると、使用薬物の入力欄が作成されますので、入力してください。
- 対象行為前物質関連使用障害は、物質乱用、物質依存症、物質による精神障害などが該当します。
- 対象行為時の規制薬物使用の有無は、**対象行為前1か月以内**に使用歴がある場合、「あり」を選択してください。